

新製品

ヤナギ刃で中耕しても土を寄せません

# 泥よけシールド

お手持ちのヤナギ刃に「泥よけシールド」を装着すると、ヤナギ刃でおこした土が作物に寄るのを「泥よけシールド」が防ぐので、ウイングディスクと同じように、作物の生育初期における中耕除草作業でも安心して根際まで処理ができるようになります。

※ウイングディスクのような溝を付ける効果はありません。



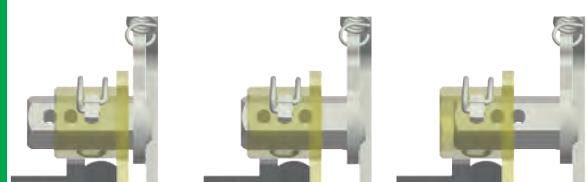
ヤナギ刃のみで中耕すると作物にかぶる土(黄色矢印)を、  
「泥よけシールド」がシャットアウト(白色矢印)するので、作物に土がかぶりません(赤色矢印)。



## 「泥よけシールド」の装着



### 取付幅調整



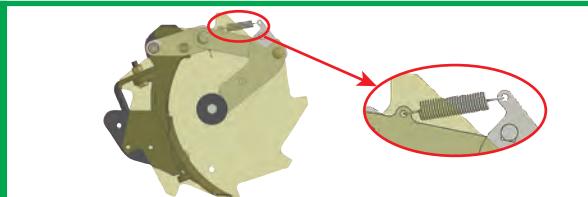
取付位置を3段階に変更でき、は場条件に合わせた土の流れ(逃がし)方を調整可能です。

### 装着スタイル



「ヤナギ刃」だけではなく、「ヤナギ刃(W95)」の装着や「やなブレード」の同時装着も可能です。

### 障害物回避



バネ付きリンク機構装備で、石などの障害物に衝突したときに、絶妙に乗り上げて破損を防止します。

ヤナギ刃シャンクの固定ボルトを利用して取付金具を装着し、軸を差し込んで固定ピンでとめるだけです。

# カルチベーターを機能拡張 - 各種アタッチメント

草刈るチシリーズ、3本爪カルチベーターの機能を拡張する各種アタッチメント。幅広い年式・型式に対応します。

## 《畦間の土塊をこっぱみじん》

### ■ ゴロクラッシャー

<適応年式・型式>  
S 5.2以降の全型式



<NAタイプ>

● 装着方法

スライドシャンク形状で、ビーム後ろ側のチャックブラケットの後ろのチャック部に固定

● 高さ調整

ハンドルで無段階調整  
(正確な目盛付き)

<NM・NJ・3本爪カルチ>

● 装着方法

深耕チャック\*に専用ブラケットを取り付けて装着  
※深耕チャック(極太)には装着できません

● 高さ調整

ストップバーピンで8段階調整

ヒョウタン刃や深耕爪で浮かされた大きな土塊を、こっぱみじんに碎きます。葉よけドロよけ側板付きで、作物が小さいときは、ゴロクラッシャーに碎かれてしまひでた土が作物にかぶるのを防ぎ、作物が大きいときは、トラクターに踏まれた茎葉がゴロクラッシャーに巻き込まれるのを防ぎます。



<NAタイプ>

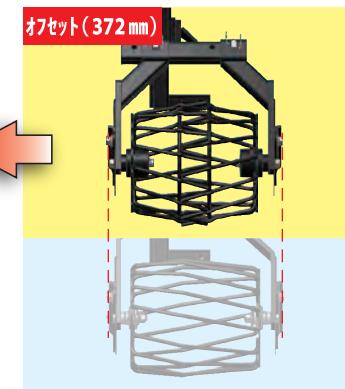
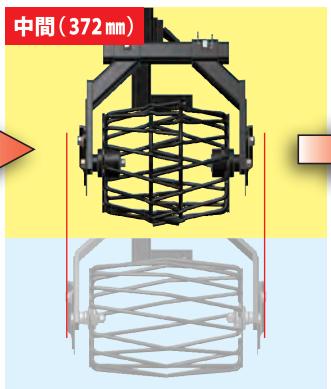
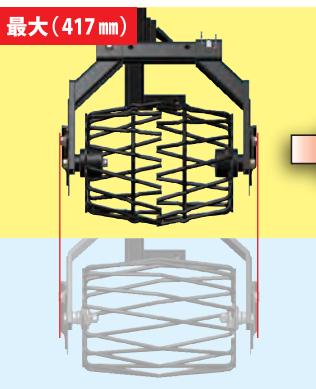


<NM・NJ・3本爪カルチ>

## 《狭い畦間でもしっかりと碎土》

### ■ ゴロクラッシャー SV (特許)

<適応年式・型式>  
S 5.2以降の全型式



外側の取付穴  
(ゴロクラッシャー幅広タイプと同等)

真ん中の取付穴  
(ゴロクラッシャー幅広タイプより45mm狭い)

内側の取付穴  
(幅広タイプより90mm、左右タイプより45mm狭い)

一方が外側、一方が内側の取付穴  
(ゴロクラッシャー左右タイプと同等)

作物の成長に合わせて作用幅を変更できるゴロクラッシャー。  
左右それぞれ3段階に取り付け位置を変更でき、ゴロクラッシャー幅広タイプと同等の作用幅を最大に、45mm狭い中間幅、90mm狭い最小幅、ゴロクラッシャー左右タイプと同じオフセットなど、9通りできます。作物が成長して畦間が狭くなっても、長期に渡ってしっかりと碎土できます。

※装着・調整方法はゴロクラッシャーと同じです。

# 畦間の中耕・除草・培土のバリエーションを拡げる6種類 の爪※<sup>1</sup> – お好みの仕上がり※<sup>2</sup>となる爪をお選び下さい –

※1：ほかにもさまざまなアタッチメントがあります。※2：時速4kmで処理をした時の溝形状(点線は処理前)で、土質、圃場の水分状態、作業深さ、作業速度など諸条件により変化します。

『長期にわたって…ひろく、浅く、美しく!!』

## ■ コンコル刃 (W155) (意匠)

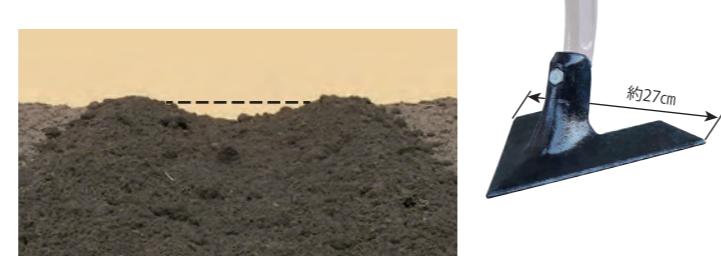
約16cmの作用幅で、コンコルドより長期間、浅く、土をあまり移動させずに中耕除草ができます。  
上下2段階に取り付けができます。



『作物初期の畦間を…ひろく、浅く、美しく!!』

## ■ コンコルド

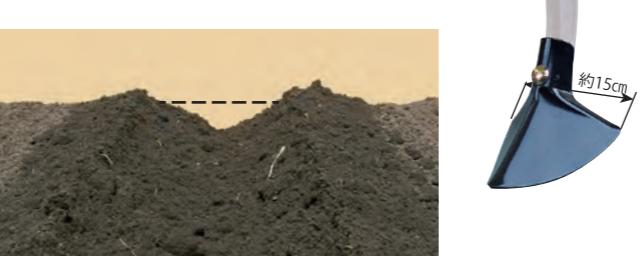
約27cmの作用幅で、浅く、土をあまり移動させずに中耕除草ができます。  
作物の生育初期の中耕除草に最適です。



『狭く深い溝で収穫楽チン』

## ■ スコッ刃

ヒョウタン刃とカスベ刃の中間の約15cmの作用幅で、収穫時のガイド溝として役立つしっかりとした溝を形成します。  
作物にあまり土を寄せせず、豆類の仕上げ前の軽い土寄せにも最適です。



『軽い土寄せでキレイに仕上げ』

## ■ カスベ刃

約22cmの作用幅で、豆類やビートの仕上げなど、少ない土量の土寄せに最適です。

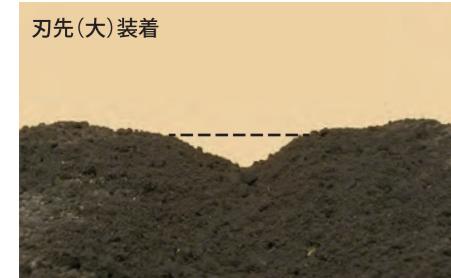
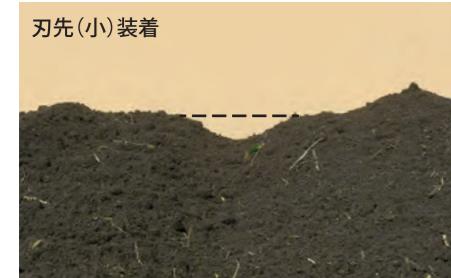


『カスベ刃じゃ物足りない、フレキシ培土器じゃあ大きすぎるという方へ』

## ■ イーグル羽根 (EW-01) (特許)

カスベ刃のように畦間は浅く、フレキシ培土器のように根際にしっかりと土を寄せる培土器です。  
上下2段階に取り付けができ、両脇のゴム板も伸縮や上下反転、取付角度、高さなど自在です。  
大・小2種類<sup>\*</sup>の刃先があり、バリエーション豊富にセッティングができます。

※ 刃先(大)が標準装備です。刃先(小)は別途料金が発生します。



『お好みの培土量、形状に仕上げる調整自在の培土器』

## ■ フレキシ培土器 (FR-01)

培土量や土の逃がし方を、フレキシブル(自在)に調整できる培土器です。  
培土量はウイングの出し入れ量で、土の逃がし方は3段階に調整ができるウイング先端のゴム板の角度でと、それぞれ簡単に調整ができます。  
4ピース構造で、大・小2種類<sup>\*</sup>の刃先の取り付けができるので、組み合わせ方しだいで用途の幅が一段と拡がります。

※ 購入時に選択してください。



培土量 少 ← → 培土量 多



## 《幅広い畦幅に対応…ベーシックなばれいしょ用慣行時期培土器》

## ■ カマボコ培土器(KR-725)



カマボコ培土器シリーズ(KR-75, KR-72, KR-721)の良い所を凝縮したばれいしょ用慣行時期培土器。

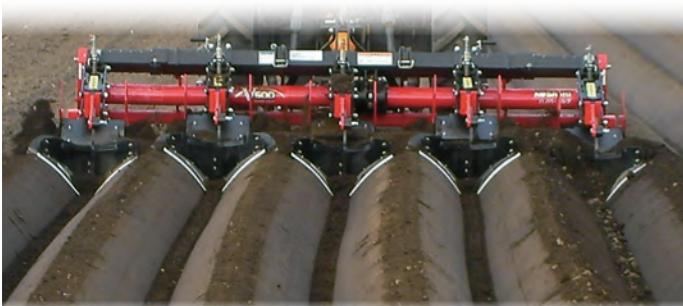
生育範囲を大きく保つために山を高く、窒息しないように柔らかく、崩れないようにしっかりとしたカマボコ型を樹脂製こすり鎮圧板できれいに形成します。

ラバープレートで根際までしっかりとソフトに土を寄せ、てっぺんに凹みができず、水が溜まつて緑化イモが発生するのを防ぎます。

適応畦幅が66~75cmと広く、培土後の溝幅も12cmと広いため、管理作業で畦間にに入る必要が多い方に最適です。

## 《早期、慣行、修復…時期を選ばずしっかり培土》

## ■ 早慣力マボコ培土器(SKR-75) (特許)



培土量が『カマボコ培土器(KR-725)』よりも格段に多いばれいしょ用培土器。

培土器両脇のアタッチメントを付け替えるだけで、着蕾期までに行う「慣行時期培土」、ロータリーカルチを使用した「早期培土」、培土後に発生してしまった地割れや崩れた山を修復する「修復培土」など、あらゆる時期や条件に応じて使用できます。

適応畦幅が72cm以上そのため、72cm未満の場合はKR-725を使用してください。

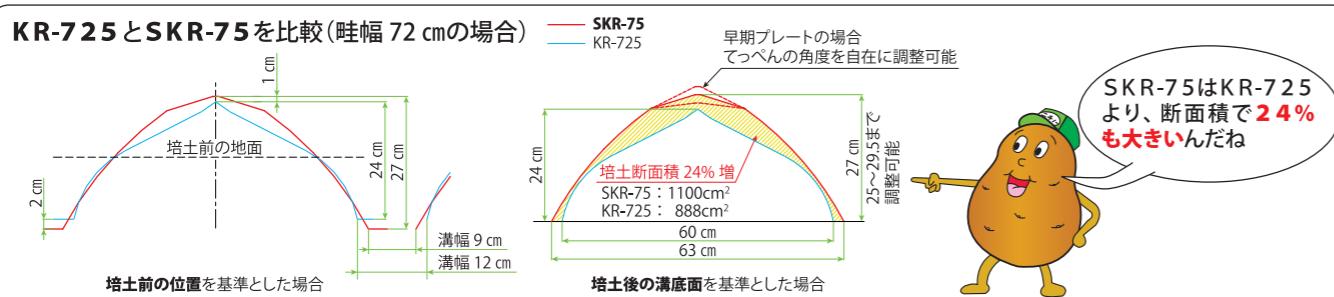
※:ロータリーカマボコアダプターが必要です。



山の頂点角度を7°~27°と調整できる早期プレートが、頭のてっぺんまでキレイにこります。

バイブレードが土量をしっかりと保ち、ゴム板(角度固定)で根際までしっかりと土を寄せます。

\*:ロータリーカルチで培土をする場合はエプロンがあるので取り付けできません。



## 《カマボコ培土器シリーズとロータリーカルチがドッキング》

## ■ ロータリーカマボコアダプター

適応機種  
コバシハイパーカルチ(V300(N)・V500(N))



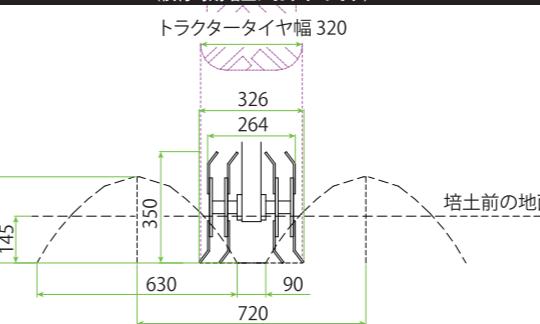
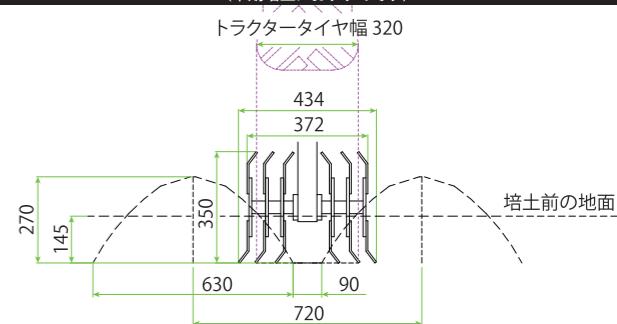
コバシ製ロータリーカルチ「ハイパーカルチ」に専用アダプターを取り付けるだけで、カマボコ培土器シリーズ(KR-725・SKR-75)を使用でき、土塊の少ないロータリー培土ができます。

トラクターの踏圧で硬くなった土壤を、「ハイパーカルチ」がしっかりと粉碎するので、土質や水分状態に左右されず、慣行時期培土、早期培土を低コストで行えます。

しかも、砕きたての膨軟な土を、高く、柔らかく、崩れない、最高の仕上がりの山を培土器が形成します。収穫時にハーベスターのコンベヤに土塊が上がらず、作業能率アップに大きく貢献します。

## コバシハイパーカルチ V500N 装着時

使用時期に応じて作用幅(フランジ枚数)を変えると、より効果的な培土を行えます。  
ご注意>ストロンを傷つけないためにも生育状況に合ったフランジ枚数で作業することをお薦めします。  
また「ハイパーカルチ」の取扱説明書もお読みになって使用してください。

2 フランジ装着時  
(慣行時期培土におすすめです)3 フランジ装着時  
(早期培土におすすめです)

## ◎ 培土器は、なぜカマボコ型がいいの?

ばれいしょ培土に定評の「カマボコ培土器」・「早慣力マボコ培土器」ですが、なぜカマボコ型の培土器がいいのでしょうか。

1. 培土容積が大きいのに崩れにくく、ばれいしょの生育範囲にゆとりがあります。
2. 適応畦幅、適応時期が広く、お客様のニーズに合わせて使用できます。
3. 「ニチノー」カルチベーターとの相性はバツグン!! 特に、「みらくる草刈るチ(NAK)」と絶妙のコンビネーションで安定した培土を提供します。
4. コバシ「ハイパーカルチ」と専用アダプターを使用すれば、土塊の少ないロータリー培土ができます。

## 《湿った土でも作業深さが安定》

## ■ タイヤスクレッパー (特許)

適応年式・型式  
S52以降の全型式

畠が湿っているときにカルチ作業を行うと、湿った土がベッタリとタイヤに付着して外径が変わり、作業深さが安定しなくなります。付着した土を削り落とすので、作業深さが安定します。

※:草刈るチシリーズは標準装備



## 《場所を選ばず取付自在》

## ■ どこでもトレー

適応年式・型式  
S52以降の全型式

カルチベーターだけではなく、マルチャーなど、角パイプのサイズに合えば、さまざまな機械に取り付けができる工具トレーです。向きや角度など好みに取り付けることができ、工具などを機械と一緒に管理することができるようになります。



## 《幼少期の作物のカルチ作業が一変!》

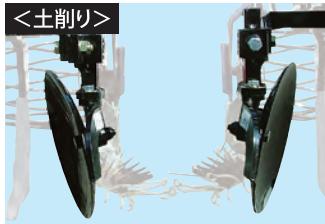
## ■ ウィングディスク

<適応年式・型式>  
S 5 2以降の全型式

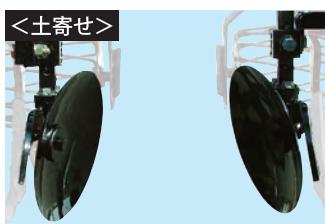
土を割るように作用する縦爪タイプのヤナギ刃とは異なり、湾曲したディスクが土を切るように作用し、幼少期の作物に土をかけることなく、根際まで中耕ができます。

しかも、『草刈るチ』で使用の場合、株間輪と相性がバツグンで、株間輪の駆動用の短い爪がウィングディスクで削った溝にはまり、株間輪がスムーズに駆動します。

また、左右のディスクを入れ替えると、作物の上からソフトに土をかぶせる土寄せができ、ばれいしょの萌芽期培土などでキレイな土寄せができます。



- 作物に土をかけず、ビート・豆類の初期除草に最適です。
- 根際の土を動かさず、土壤処理剤の効果を長く持続させます。
- 形成する根際の力で除草クリーナーの効果を高め、手取り除草の能率を大幅に高めます。



- 作物の上からソフトに土をかぶせるので、ばれいしょの萌芽期培土に最適です。

## 《畦間の中耕・除草効果がアップ》

■ やなブレード<sup>(特許)</sup><適応年式・型式>  
S 5 2以降の全型式

ヤナギ刃と一緒に取り付けると、畦間の中耕除草効果が上がります。



表層近くに作用し、畦間の除草効果が上がります。

深い位置で作用し、畦間をより広く膨張にします。

## 《ヤナギ刃で中耕しても作物に土を寄せません》

## ■ 泥よけシールド

<適応年式・型式>  
S 5 2以降の全型式

スライドシャンクとヤナギ刃シャンクを固定するボルトを利用して装着します。

ヤナギ刃でおこした土が作物側に寄るので、安心して根際まで中耕処理ができます。



「ヤナギ刃」・「ヤナギ刃(W95)」・「やなブレード」いずれも使用可能



バネ付きリンク機構で障害物回避

3段階の取付位置で幅調整可能

## 《畦間の中耕・除草効果がアップ》

■ ヤナギ刃(W95)<sup>(意匠)</sup><適応年式・型式>  
S 5 2以降の全型式

標準のヤナギ刃よりも作用幅が55mm広く、取付位置も3段階あり、幅広くお好みの深さで中耕除草を行えます。また、やなブレードとの併用<sup>\*</sup>もできます。

\*取付位置の組み合わせによっては、取り付けができない場合があります。

